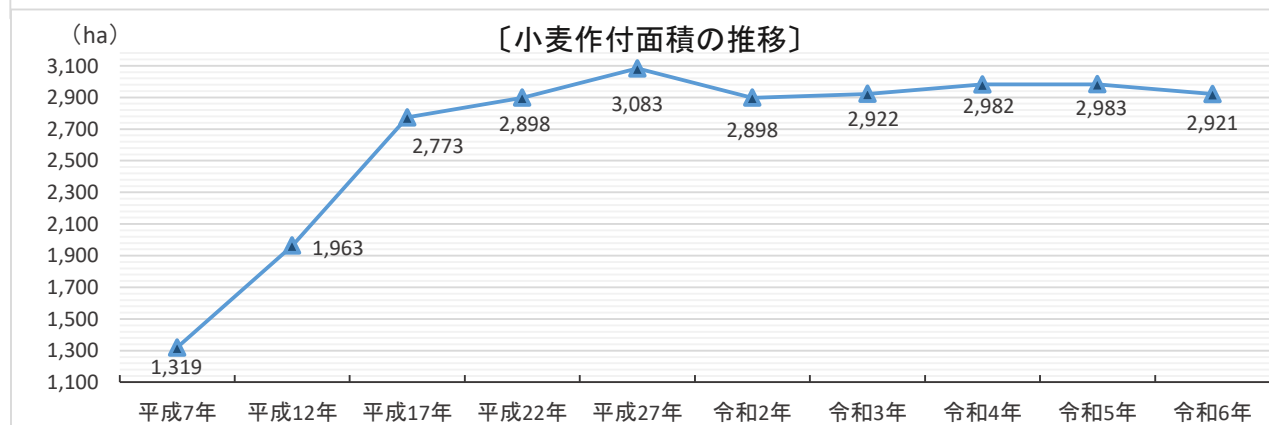
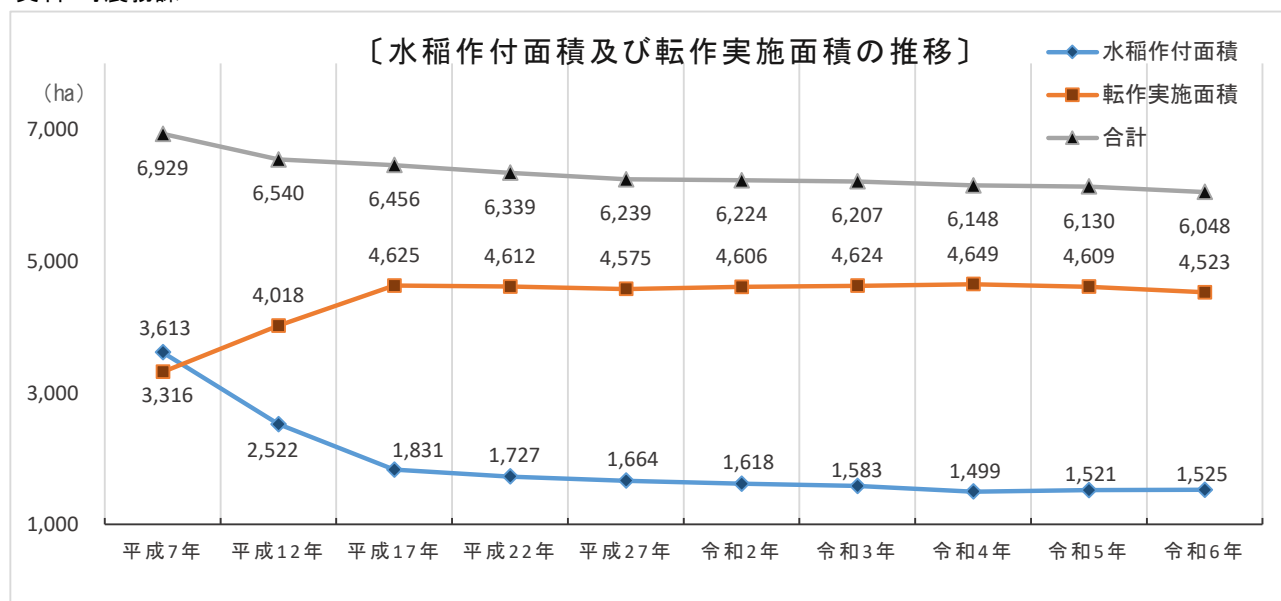


3 水稲作付面積及び転作実施面積

単位:ha

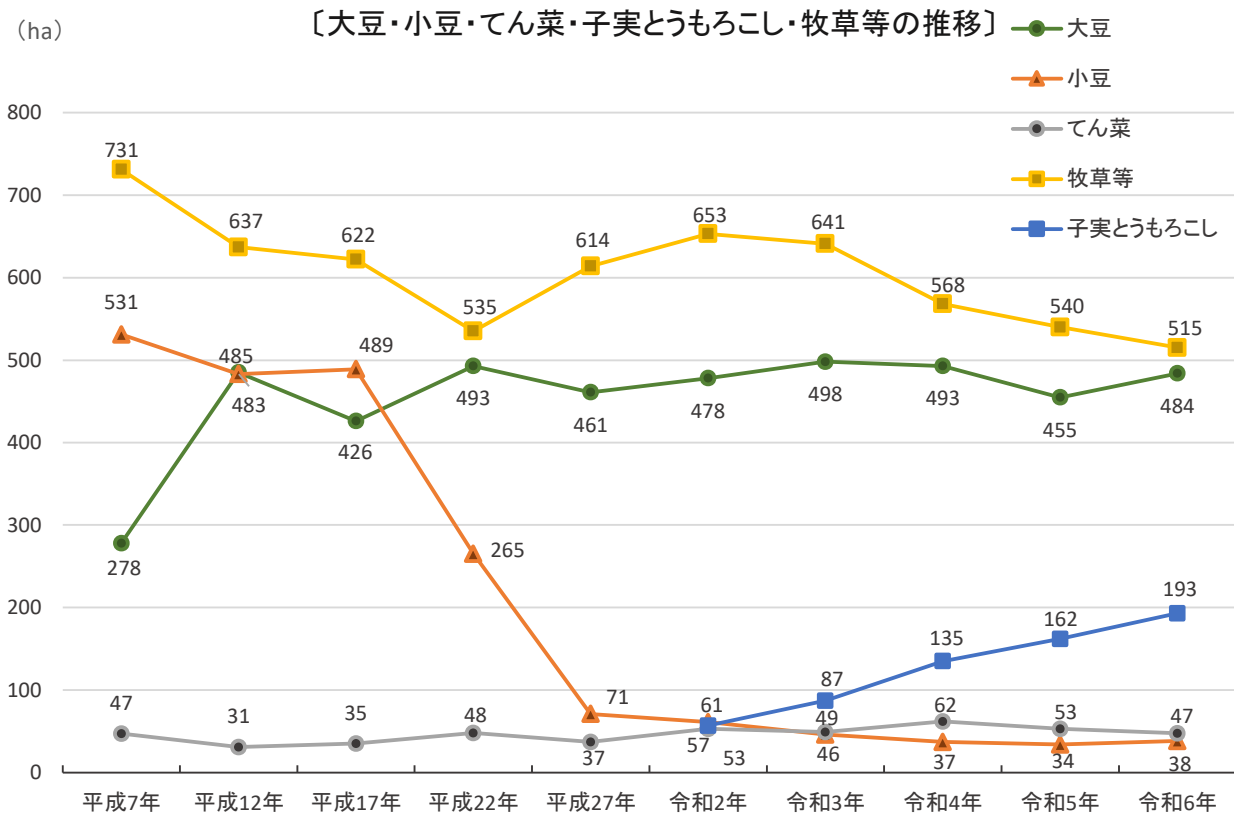
区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成7年	3,613	－	3,136	1,319	278	531	47	－	69	731	－	341
平成12年	2,522	－	4,018	1,963	485	483	31	－	78	637	－	341
平成17年	1,831	1,831	4,625	2,773	426	489	35	129	71	622	－	79
平成22年	1,727	1,722	4,612	2,898	493	265	48	248	83	535	－	42
平成27年	1,664	1,537	4,575	3,083	461	71	37	190	71	614	－	48
令和2年	1,618	1,542	4,606	2,898	478	61	53	274	68	653	57	64
令和3年	1,583	1,371	4,624	2,922	498	46	49	266	69	641	87	47
令和4年	1,499	1,339	4,649	2,982	493	37	62	266	69	568	135	37
令和5年	1,521	1,318	4,609	2,983	455	34	53	259	72	540	162	50
令和6年	1,525	1,313	4,523	2,921	484	38	47	251	73	515	193	1

資料:町農務課

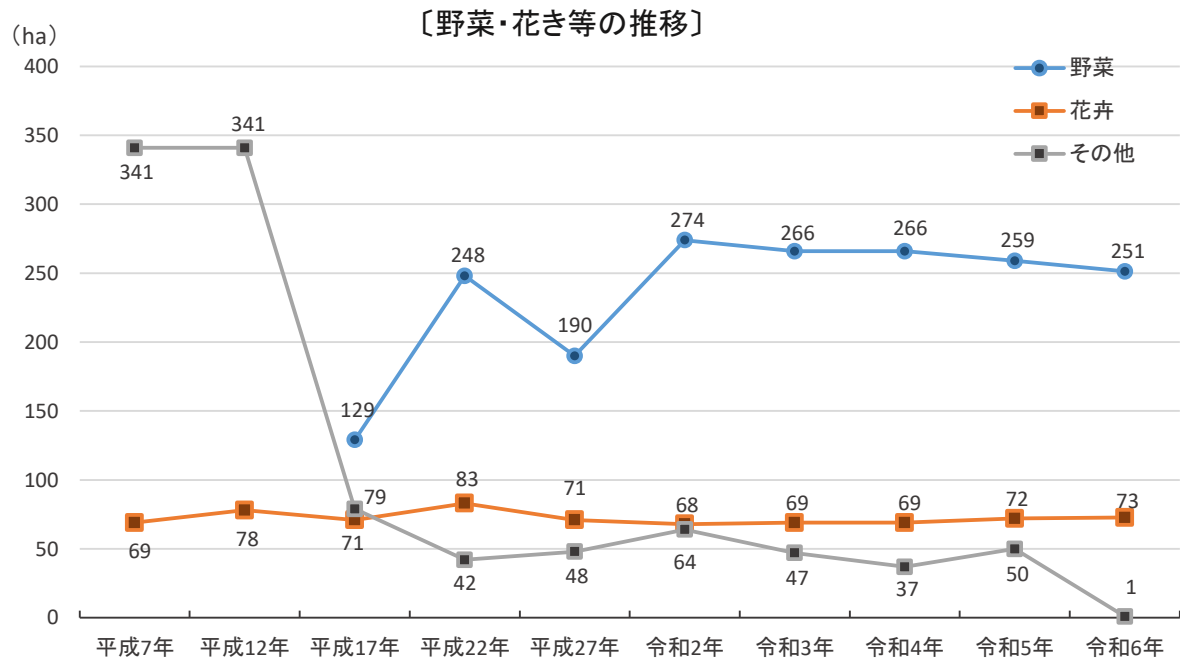


水稲作付面積は、平成12年産以降減少傾向で推移していましたが、現在は増加傾向となっています。

当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、令和2年度以降増加傾向で推移していましたが、令和6年度で減少となっています。



当別町の転作作付面積のうち、子実とうもろこしは増加傾向となっています。
また、大豆は令和元年度以降500ha前後を推移しており、令和5年度で減少しましたが、令和6年度で増加しました。



野菜の作付面積は、減少傾向となっています。
花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。